

この子らと

令和1年10月

まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男

命を守る



地震から津波発生までの避難訓練を実施いたしました。年少少組の子どもたちも先生方の支持のもと、防災頭巾をかぶり、お寺の先生方の住宅の屋上まで整然と避難できました、消防署の方々もほめてくださいました。「自分の命は、自分で守る」がこれから小学校にかけての目標となります。幼稚園は、その基礎づくりをしています。

避難場所の屋上は「海拔24m」です。



詩人 ワーズワース

空に虹を見つけたとき ぼくの胸はときめくんだ
小さい頃からそうだった 大人になった今でも
年をとつてからも この感動は変わらない
ときめきをなくしたら 生きている意味なんかないからさ

大人は 子どもに教えられるもの
だからこそ ぼくは思うんだ
自然の偉大さに 日々 感動していきたい と

**次の文は、子どものつぶやきからです。
幼稚園児の感性に大人はかないませんね、**

ベランダで雨を眺めていた Y くん。「雨がゆっくり降るね。雨が順番、順番並んでいるね、空をながめてつぶやいていました。

部屋でつまづいて転んでいる私が「痛い」と膝をかかえていると「大丈夫?」とやっきた A くん。「お部屋を走るからころぶんだよ。」と、膝をさすりながら優しく教えてくれました。

給食のプリンのカラメルを「食べられない」と持ってきた J ちゃん。「どうして」と聞くと「だって、こげてる!」確かに。でも、甘くておいしいよ、
